

2023. 10. 12

本音の コラム



日本ではパンとサーカスの報道が続く中、今度のはイスラエルとハマスとの大規模戦闘が始まった。すでに死者は民間人を含めて2千人を超えているという。

よしかず
三木 義

ロシアのウクライナ侵攻以来、国際政治のニュースを見るのがつらいのだが、ますます状況が悪くなってきた。

真っ先に頭をよぎったのが「悲しくてやりきれない」の歌詞だ。

♪悲しくて 悲しくて
とてもやりきれない
このやるせない モヤモヤを
だれかに告げようか♪
(サトウハチロー)
イスラエルもパレスチナも政治的に強硬派がリードしている。相手を壊

悲しくてやりきれない

滅して「平和」な日々が来るまで戦うのだろうか。もちろん、両者にも歩み寄ろうという政治家が出たことはある。だが、歩み寄ろうとすると、エジプトのサタト大統領はイスラム急進派に射殺され、イスラエルのラビン首相は極右ユダヤ人に暗殺されたように、それぞれの身内の右派による暗殺が繰り返されてきた。その結果ネタニヤフ政権とハマスという強硬派の対立状態が続いていた。

イスラエルの人もアラブの人も宗教心は非常に強い。筆者のように、宗教心が弱い者がいくら戦争のない世界をお願いしても神様に無視されるのかもしれないが、こんな信心深い人たちが犠牲になっているのに、それぞれの神様は一体どこをうろついているのだろうか。(青学大名誉教授)